

第14回千葉県資源評価検討会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年10月28日(木) 午後1時30分～午後3時30分
- 2 開催場所 WEB会議
- 3 出席者 <構成員>
県農林水産部水産局漁業資源課長 小嶋 一隆
県水産総合研究センター次長(資源研究室長事務取扱) 梶山 誠
東北大学大学院農学研究科 教授 片山 知史
<その他>
県関係職員16名
- 4 検討事項
 - (1) 資源評価基準について
 - (2) 資源管理協定への移行に係る対応について
 - (3) 令和3年度資源評価対象種の選定について
 - (4) その他
- 5 検討事項の概要及び検討の結果
 - (1) 資源評価基準について
事務局から第1回千葉県資源評価検討会議において決定された資源評価基準は変更せず、従前の基準により評価を行う旨説明があり、事務局(案)のとおり取り扱うことが承認された。
 - (2) 資源管理協定への移行に係る対応について
事務局から、資源管理指針・計画体制から資源管理方針・協定体制への移行の概要及びスケジュール、資源管理方針における対象魚種の設定等について説明があった。構成員及び出席者からの意見等は以下のとおり。

・構成員から、資源管理方針で新たに対象とする23魚種の位置付けの確認と資源管理方針の内容については本会議において議論できる機会を設けるべきとの提案があった。
 - (3) 令和3年度資源評価対象種の選定について
事務局から、今年度資源評価対象種及び資源評価対象候補種について、説明を行い、事務局(案)のとおり承認された。令和2年度に資源評価したキンメダイ等15魚種

のほか、新たにコウイカを追加した計16魚種について評価票を作成することが決定された。また、その他の18魚種については、今年度の評価票は作成しないが、いずれも次回会議において、評価票に準ずる資料等を関係者間で共有することが決定した。

なお、評価対象魚種の総合判断の考え方については、新漁業法の考え方を踏まえ事務局で再度整理し、次回会議で示すことになった。

構成員及び出席者からの意見等は以下のとおり。

- ・ 構成員から、新漁業法の考え方を踏まえ、評価対象魚種の総合判断の考え方を再度整理するとともに、国の評価対象魚種も含め、千葉県の資源管理を考える上で重要となっている魚種の一覧表の作成等について提案があった。

(4) その他

事務局から今後のスケジュールと次回の資源評価会議の予定を説明した。